

# 再春ボランティア新聞

No. 8 2021年1月発行

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染対策のため、ボランティアさんの受け入れに制限が掛かり、改めてボランティアさんの大切さを痛感した一年になりました。

縫製ボランティアさんは、受け入れを6月に再開しましたが、その後感染拡大を受けて7月下旬より再度受け入れを中止しました。今尚、感染への警戒は続いておりますが、利用者さんのご家族や病棟スタッフより要望があったため、感染防止対策（検温、マスク着用、使用物品の消毒等）を行った上で、11月下旬より受け入れを再開しています。熊本県の感染状況は落ち着いてはいませんが、今後も感染対策を行い、充分注意して受け入れをしていきますので、今後よろしくお願い致します。



利用者さんとボランティアさんの直接的な関わりは、難しい状況ですが、縫製や装飾品等を通して関わって頂いています。



季節の装飾品



絵手紙活動



縫製ボランティア

## 季節の装飾品紹介

ボランティアさんが以前から季節にあった飾り物や造花を利用者さんやご家族が通る病院廊下に飾って下さっています。普段病室内で過ごされ、中々四季を感じる事が難しい利用者さんですが、個別活動での絵手紙模写に装飾品を使用したり、散歩の帰りに見られたりして季節を感じられています。

今年もよろしくお祈りします。

ボランティアお問い合わせ  
療育指導室長 植村(内線 8311)